

授業科目名	キャリアデザインⅠ			担当教員	中村 光江	
開講年次	2 年後期	セメスター	4	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	自分の将来像を模索し、専門職としての目的意識を形成する。					
到達目標	1. キャリアおよびキャリアデザインの基本的な考え方を理解できる。 2. 自己を分析的に捉え、自身の傾向について考察できる。 3. 様々な看護専門職について調べ、理解することができる。 4. 専門職としてのキャリアデザインを基に、自身の将来像について考察できる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	自身の特性を活かして、長期的視点からどのように専門職としてのキャリアを築いていくかを考え、生涯を通じた「自己教育力」を向上させる基礎を築く。「自己教育力」は、卒後も自己研鑽の継続が求められる専門職には不可欠とされる能力である。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
		○				
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	科目オリエンテーション キャリアデザインの基本 キャリアに影響する要素	講義 GW	復習：テキスト第 1 章 (P.12-26)	30 分	中村	
2	看護職としてのキャリア形成の基礎：資格と教育背景 * レポート課題提出	講義 GW	予習：看護職の様々な専門性を示す資格制度について調べ、レポートにまとめる	1 時間	中村	
3	看護師としての成長 看護師のクリニカルラダー * 1 年次の PROG テスト結果持参	講義 演習	予習：1 年次の PROG テストの結果を参考に自身の特徴を考える 復習：テキスト第 3 章 (p.78-113) 第 5 章 (p.163-170)	1 時間	中村	
4	看護職の就業状況の特徴 * 予習課題の資料を基にディスカッション	演習 GW 討議	予習：配布資料を読み、何が読み取れるかを考える	1 時間	中村	
5	看護師のキャリアにおける障壁 看護師としての転機	講義 演習	復習：テキスト第 4 章 (p.116-137, 148-162, 171 – 183)	2 時間	中村	
6	看護という仕事の特徴 看護師の社会的イメージ 感情労働 臨床におけるジレンマ * 第5回の復習課題の資料を基にディスカッション	講義 GW	予習：配布資料熟読。 復習：テキスト第 1 章 (p.27-33)、第 4 章 (p.138-145)	1 時間	中村	

7	ゲストスピーカーの講話を通して 様々な看護師の働き方を学ぶ	講義	復習：レポート作成.	1 時間	中村
8	自身の将来像を描く * 第7回のレポート課題提出	演習 GW 討議	復習：自身のキャリアデザインについて レポート作成	3 時間	中村
先行履修 科目					
テキスト		勝野裕美子：看護師のキャリア論. ライフサポート社, 2007.			
参考文献		Benner, P. / 井部俊子訳：ベナー看護論 新訳版 初心者から達人へ. 医学書院, 2005. 武井麻子：感情と看護 人とのかかわりを職業とすることの意味. 医学書院, 2001. Gratton, L., Scott, A. / LIFE SHIFT 100 年時代の人生戦略. 東洋経済新報社, 2016. 他、適宜提示する			
評価方法		レポート（80%）、グループワーク（10%）、授業への取り組み（10%）で総合的に評価する。			
教員等の 実務経験		一般企業での勤務経験があり、看護師および看護大学の教員として複数の施設で勤務経験のある教員が、キャリアに関する動向を踏まえてキャリアデザインについて講義します。			
メッセージ		キャリアというと職業や仕事に関することのみを指すと思われがちですが、キャリアを考えることは自身の人生を考えることです。職業人としてまた専門職者としての可能性を探り、自身の将来像を描くことで、人生の展望を広げていきましょう。長期の「夢・目標」を設定することが、大学生活で何をどのように学んでいくのかを考えることにつながっていきます。			